

---

# アイランドの学ヘタ日記

マネー

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

アイルランドの学ヘタ日記

### 【Nコード】

N9116Y

### 【作者名】

マナー

### 【あらすじ】

どうもです。

今回が初トーコーの『マナー』です。

gdgdですが、生暖かい目で見守って頂ければ幸いです。

## 序章（前書き）

アイルランドとヴァチカンはおリキャラです。  
とにかくsad sadです。

さーせん・・・（泣）

## 序章

こんにちは!!!

俺はアイルランド。

W学園に通う高校1年生!

寮生活なんだけど・・・

??? アイル!!!

何ブツブツ

言ってんだよ!!!

(nynyn)

よりによつてプロイセン。

確かに俺は不憫だけどね・・・(泣)

??? ボンジョルノ

??? ヤッホー

???・・・よお。

こいつ等はイタリア3兄弟妹。

(ちなみに上からイタリア、ヴァチカン、ロマーノだ。)  
どつからどう見てもヘタレの兄弟妹だ。

??? おはようさん

チュロスの

差し入れに来たで

こいつはスペイン。

とにかく明るくて面白い奴だ。

あと料理が上手い。

まあ、今いるメンツはこんなもんだ。

このメンツを見てると入学当時を思い出すなあ・・・

（次回に続く・・・）

## 序章（後書き）

絞め方が分からん!!!（泣）

もう続く形で締めました。

多分、続くと思うんで、次回もよろしくお願い致します（ペコリ

## オリキャラ設定（前書き）

オリキャラの説明をします。

## オリキャラ設定

オリキャラの紹介して無かったので、今します。

アイルランド

年齢〓 高校1年生

身長〓 150.2?

体重〓 39.6?

性別〓 女

一人称〓 俺

性格〓 とにかく明るく、楽観的

方向音痴

負けず嫌いだが、プライドは低い

仲間の為なら

とことん情熱燃やしまくる

ヴァチカンとは親友

特技〓 料理、喧嘩、大食い、逃げる

好きなもの、こと

〓 シエスタ、食べること、二次元、読書、動物、歌う、運動  
嫌いなもの、こと

〓 勉強、不良、イギリス（兄）

ヴァチカン

身長〓 149.0?

体重〓 38.0?

性別〓 女

一人称〓 あたし

性格〓 明るく、優しい。



絶対音感をもっている

アニメ声

負けず嫌い

何か黒魔術使える

アイルランドとは親友

特技〓絵を描く、歌う、逃げる

好きなもの、こと

〓シエスタ、歌、二次元

嫌いなもの、こと

〓イギリス、争い事

・・・と、こんな感じです。

後のキャラクターは原作と同じです  
これからもお願いします（）ペコリ

オリキャラ設定（後書き）

やっぱり。。。。  
本当ですね。。。。（泣）

## アイルの回想（前書き）

今回はアイルの昔の話です。

## アイルの回想

昔、俺達は人間だった。

何で『俺達』なのかっていうと、

ヴァチカンも昔は人間だったからだ。

話を戻して俺達は同じ中学校に通うごく普通の学生だった。

でもある日、俺らの人生は他の人と全く違うものになった・・・

忘れもしない夏の日・・・

俺達は学校の守り神が出ると噂の場所に来ていた。

そこは普段、生徒が入れないよう鍵がかかったドアがあった。

しかし、その日はドアが無かった。

鍵がかかっていなかった訳ではなく、ドア自体が無かったのだ。

俺は不思議に思ったが、そのままスルーしてしまった。

噂の場所には謎の石板があった。

不思議に思った俺が石板に触れた瞬間、真っ白な光が俺達を包みこ

んだのだった・・・

（次回へ続く・・・）

## アイルの回想（後書き）

ggggですね・・・

自分の文才の無さが・・・（泣）

いざ世界W学園へ！！！（前書き）

今回はセリフが多いです。

アイルランドは「アイル」ゝ」となっております。

いざ世界W学園へ!!!

まばゆい光が消え、目を開けると、おじいさんがいた。

???）ほお・・・君達が・・・

おじいさんはいきなりニヨニヨしだした。

よく現状が分からない俺は、おじいさんに質問してみた。

アイル）あなたは誰ですか？

???）よくぞ聞いてくれた!!!

我は『神』じゃ!!!

アイル）はいっ!!!?

このじいさん頭大丈夫かなあ・・・

神様）ワシは君達を迎えに来たのじゃ。

いざ来たれ!!!

ヘタリアの世界へ!!!

俺達）はあああっ!!!?

やっとヴァチカンが喋った。

今までビツクリし過ぎて喋れなかったらしい。

で、その神様（？）が言うには世界W学園の入学人数が少なすぎるので、俺達に国になって欲しい・・・という事らしい。

俺達はヘタリアが好きだったから、勿論こつ返事した。

俺達（ いざ行こう！！！！  
ヘタリアの世界へ！！！！



いざ世界W学園へ！！！（後書き）

一話が短くてすみません・・・

ついに学園へ！！！（前書き）

ついにアイルがヘタリアの世界へ！！！！  
ある人と会います！！！！

ついに学園へ!!!

ここは何処だろう・・・

俺はそつと目を開けた。

俺はベットに寝ていた。

その時・・・

君は今日からアイルランドだ・・・

という声が聞こえた。

それで俺は今までのことを全て思い出した。

ハッとして起き上がろうとすると激しい痛みにまた寝てしまった。

その時・・・

???）お、目が覚めたか。

ボサボサの金髪に緑碧の目・・・

俺はこの人を知っている・・・

イギ）俺はイギリス。

お前は？俺と同じだろ？

アイル）俺は・・・

アイル・・・ランド・・・

アイルランドだ。

イギ）そうか・・・

こんな小さい体で頑張ったんだ・・・

俺が小さい・・・？

確かに身長は低いが・・・

俺は近くにあつた鏡を見た。

確かに小さかった。

いや、小さいというより『幼い』。

そうか・・・俺は国として生まれ直したのか。

イギ）という訳で、お前は今日から俺の弟だ！！！！

アイル）うん、分かった！！！！

お兄ちゃん！！！！

イギ）なっ／／／／／

イギリスは赤くなつたと思うといきなり泣き出した。

アイル）お兄ちゃん？

大丈夫？

俺なんか嫌なことした？

イギ）いや・・・違うんだ・・・

イギリス・・・

アイル）え？

イギ）イギリスでいい・・・

それで十分だから・・・

アイル）うん、分かった！！！！

おん・・・じゃなかった、イギリス！！！！

俺は昔の記憶がなくなっていた・・・

人間だったという記憶が・・・

この事を思い出したのはもっと後のこと・・・

ついに学園へ！……！（後書き）

これからはしばらく、ヘタリアの世界で成長していくアイルのことになります。

## 兄との出会い（前書き）

歴史は完璧に無視してます。

ついにアイツがでてきますよ！！！！

## 兄との出会い

イギリスの妹になってからしばらく経ったある日。  
イギリスが家へやって来た。

イギ）アイル、遊びに来たぞ！！！！

アイル）イギリス！！！！

来てくr・・・

その時、いきなり誰かに抱きつかれて、ビックリした俺は黙ってしまった。

???）うわあゝ！！！！

僕よりちっちゃい！！！！

この子かい！！？

僕の弟って！！！！

弟？　俺は女なんだけどなあ・・・

イギ）ああ。そいつがお前の弟だ。

アイル、コイツh「僕はアメリカ！！！！君は？」

お前、人の話をさいg「俺はアイルランド。よろしく」

お前も聞けよ！！！！

何かイギリスが怒ってたけど、アメリカはいい人みたいで良かった！！！！

仲良く慣れたらいいなあ・・・



## 兄との出会い（後書き）

期末前なので勉強しなくては・・・なのですがサボってます。  
そして己の文才の無さに（泣）  
何かリクエストがあれば、感想等お待ちしております。

## 兄との出会い2 (前書き)

part2です!!!

イギリスの弟はまだいますよ!!!

## 兄との出会い2

アメリカに会ってからしばらく経ったある日、  
またイギリスが家にやって来た。

イギ）おい、アイルー。

遊びに来たぞー。

アイル）イギリス！！！！

また来てk・・・

またイギリスは俺の知らない子を連れていた。  
そして、また少し前と同じ現象が起きた。

???）こんにちは。

僕はカナダだよ。

この子はクマ吉さんだよ。

クマ）誰。

カナ）カナダだよ！！！！（泣）

アイル）俺はアイルランド。

よろしくカナダ！！！！

クマ吉！！！！

クマ）クマ次郎だ。

アイル）え！！！！？

そうなの？

じゃ、よろしくクマ次郎！！！！

クマ）よろしくな。

イギ）アイル、カナダはお前の  
兄貴なんだ。

アイル）へー・・・

確かにアメリカにそっくり・・・

イギ）反応薄すぎだろ・・・

アイル）そうかな？

そういえばお腹空いたな・・・

イギ）俺が作ってやらないこともないぞ。

アイル）ほんと！！？

わぁーい！！！！

イギリスの手料理だ！！！！

カナダも食べるよね！！？

カナ）うん。

イギリスが良ければ。

イギ）べ、別にお前等の為じゃ

なくて、ただ俺が料理を

作ってたただけだからな！！！！／／／／

アイル）うん分かった！！！！

俺も手伝うよ！！！！

カナ）僕も手伝います。

イギ）お前等・・・

じゃあみんなで作るか。

アイル& a m p・カナ）うん！！！！

このあと料理はほとんど俺とカナダが作ったのだった。

## 兄との出会い2 (後書き)

アーサーが作らなければちゃんと料理が出来上がるぞ!!!  
y・アイルランド

b

アイル君、料理の報告ありがとう!!!

次回はどうなることやら・・・

感想等お待ちしています!!!

イギリスが来たよ！！！！1（前書き）

イギリスが来ました！！！！

いやあ、イギリスがアイルに会ったらどうなるのかなと思って書いてみました。

完璧なる私の想像です。

イギリスが来たよ！！！！1

俺がカナダとアメリカに会った5日後、  
またイギリスが家に来た。

イギ）アイル！！！！

遊びに来たぞ！！！！

べ、別に寂しかったとかじゃないんだからな！！！！  
お前の為何かじゃなく、俺の為何なんだからな！！！！

アイル）イギリス！！！！

来てくれたんだ！！！！

ありがとう！！！！

嬉しいよ！！！！

ぎゅむっ

イギ）なっ・・・！！！！／／／／

や、止めるよ／／／／

抱きつくなんて・・・／／／／

アイル）あ・・・ゴメンね？

だから嫌いにならないで？（（（うる

イギ）泣くなよ・・・

大丈夫だ、嫌いになんて絶対にならねえ。

アイル）ほんと？



イギ）ああ、ほんとだ。

アイル）良かったあ！！！！  
．．ねえ、イギリス。

イギ）ん？ 何だ？

アイル）その妖精さん誰？

イギ）！！！！！！

おま．．．！！！！

妖精さんが見える．．のか？

アイル）見えるよ！！！！

どうかしたの？

もしかして俺、へんなこと．．

イギ）言ってない！！！！

大丈夫だから泣くなよ．．

???）あーら、イギリス。

妹を泣かせちゃダメじゃない。

イギ）泣かせてねえよ！！！！

．．ん？ ちよつと待てよ．．

お前、今妹って．．

???）何言ってるの？

この子は女の子よ。

イギ）え！！！！？

でも一人称「俺」だし、  
短髪なのにか!!!?

???）あら、それがどうしたの？

この子は紛れもない女の子よ。

ま・ぎ・れ・も・な・い

!!!!

イギ）そこ強調するトコじゃねえよ!!!!

アイル）喧嘩はダメだよ？

???）・・・・・・

イギ）どうした？

???）か、か、・・・

イギ）なんだよ？

???）かわいいいいいつ!!!!

イギ）当たり前だ。

俺「お名前は!!!？」お前もかよ・・・

アイル）アイルランド!!!!

妖精さんは？

???）私はサリー。

よろしくアイルちゃん!!!!

アイル）よろしく!!!

その時だった。

あの異音が聞こえたのは・・・

ギギギギギ・・・

アイル）ん？ なんの音？

サリー）あららら・・・

サリーの目線の先には黒いオーラを纏ったイギリスがいた。

アイル）イギリス？

どうしたの？

どうか痛いのか？

俺はイギリスの背中をさすってやった。

イギ）ギ・・・

アイル）イギリス、大丈夫？

俺がずっと背中をさすり続けていると、いきなり抱きしめられた。

アイル）イギリス？

イギ）お前は優しいな・・・

アイル）イギリス、苦しいよ。

イギ）・・・ありがとう・・・

アイル）え？

イギ）何でもない・・・

その後しばらく俺はイギリスに抱きしめられていた。

イギリスが来たよ！！！！1（後書き）

アイル優しい・・・

そしてイギリスかわいそう・・・

サリーは「アイルってイギリスの妹だし妖精さん見えるのかなあ」と思って書きました。

イギリスが家に来たよ!!! 2 (前書き)

再びわたくしめの完璧なる妄想timeでございます。

イギリスが家に来たよ!!!2

あの後俺が分かったのは、イギリスは寂しいと『ギギギギ・・・』  
という音を発するということだけだった・・・  
まあ、それはさて置き、しばらく3人で紅茶を飲んだり、おしゃべりしたりしていたのだけれど・・・

イギ）あ、そうだ。

アイル。

アイル）ん？

なあに、イギリス？

イギ）お前、1回俺と一緒に  
出てみないか？

アイル）出るって何に？

イギ）世界会議にだ。

アイル）せいかいかいぎ？

イギ）ああ、そうだ。

アメリカとカナダも  
連れていこうと思ってる

アイル）世界会議かあ・・・  
行ってみたい!!!!

イギ）そ・・・そうか・・・／／／／／  
（コイツの笑顔超カワイイ！！！）

アイル）イギリス？

顔が真っ赤だよ？

熱でもあるの？

コツンッ

イギ）おま・・・！！

おでこくっ付けて

熱測んのヤメロ！！！！／／／／／

アイル）熱はないみたいだよ・・・

ってイギリス！！？

さらに真っ赤になって・・・！！

イギ）（お前のせいだあああっ！！！！）



イギリスが家に来たよ！！！！2（後書き）

アイルが無邪気すぎる！！！！

もしアイルが妹だったらぶっ倒れてます・・・

**世界会議だよ!!! 1 (前書き)**

ネタを忘れる前に書かねば・・・!!!!!!  
と書いて書いたら、前作投稿のすぐ後でした・・・

世界会議だよ!!!1

イギリスが世界会議に連れていってくれたのはそれから2年位後だった。

行く日をつたいきさつは、イギリスからの電話だった。

イギ）アイル!!!!

明日世界会議に行くぞ!!!!

アイル）．．え．．ええええつ!!!!

いきなりそんなことを言われ、今日に至る。

いやあ．．．

明日はないよ、明日は。

さすがの俺も準備があるからね!!!!?

こちらの都合も考えて頂かないとね!!!!?

．．．てな訳で、来ました!!!!

世界会議に!!!!

アメリカもカナダももう出席してるらしい。

『成長が早くてビックリした』とイギリスが言ってた。

そうだよね。

俺まだこんな子供なのに．．．

．．．まあ、そうゆう訳で俺は世界会議場に足を踏み入れる事になった．．．



世界会議だよ!!!2

会議場に入るとアメリカが出迎えてくれた。

アメ) H A H A H A H A H A つ

君達遅いじゃないか!!!

やあ、アイルランド。

久しぶりだね!!!

アイル) . . . . .

俺はボーゼンとしていた。

イギリスから聞いてはいたけど

成長早すぎだろ!!!

そして . . . なんとなく . . .

イギ) おい、アメリカ。

お前また太ったのか?

ああ . . .

イギリス、それは言っちゃ . . .

アメ) うるさいなあっ!!!

なら俺も言わせてもらうけど、

この前君にもらったスコーン。

あれスツゴく不味かったぞ。

イギ) なっ . . . ! ! ! !

テメ . . . ! ! ! !

(汚い言葉なためモザイクとなっています。)

アイル）イギリス・・・

紳士じゃ・・・無かった・・・の？

アメ）えっ！！？

君、今までコイツを

紳士だと思ってたのかい！！？

俺が頷くと、アメリカが俺にささやいた。

アメ）君も早く独立した方がいいよ。

アイル）ううん。

俺はサリーと約束したから。

アメ）誰だい！！？

サリーって。

アイル）俺の友達だよ！！！！

スッゴくかわいいんだよ！！！！

イギ）おい、なに話してんだ？

俺が口を開こうとした瞬間

アメリカが腕をつねってきた。

痛みに後ろを向くと、

アメリカが首を振っていた。

アメ）いや、何でもないぞ

さあ、行こうか。

イギ）あ、そうだ。

おい、アメリカ。

アメ）ん、なんだい！！？

イギ）そいつ、『弟』じゃねえぞ。

アメ）なんだって！！？

イギ）お、落ち着け！！！！

正確には『弟』じゃなくて、  
『妹』だ。

アメ）え．．ええええっ！！！！

そんなに驚かないで欲しいなあ．．．

さすがの俺も傷付くよ！！！！？

俺ってそんな男っぽいかな？

まあ、髪短いしなあ．．．

アメ）まあ、いいや！！！！

行こう！！！！

そう言うときアメリカは俺の手を取って走り出した  
のだった．．．

世界会議だよ!!! 2 (後書き)

ただいまアイルの名前を募集中です!!!  
感想共々、お願い致します!!!



世界会議だよ!!!3

俺らが会議室に入ると、  
いきなり誰かが駆け寄ってきた。

??? うっわぁー!!!

君、スッゴく可愛いね!!!

俺とお茶しない?!!

・・・えっ?!!

これは・・・俺に言ってるのかな?

俺が何か言おうと口を開こうとした瞬間・・・

??? ヲエネ兄ちゃん!!!

なにやってんの!!!?

??? ヲエツ!!!

ゴメンよー!!!

バチカン、許してー!!!

バチカン・・・?

この声、聞き覚えが・・・

俺は顔を上げた。

そいつは・・・バチカンは・・・  
俺の・・・かつての親友だった・・・

バチカンも俺に気付いたらしく、ふと顔を上げた。

俺達の目があったとき・・・

昔の記憶が・・・まだ人間だった頃の記憶が・・・思い出されたのだった・・・

気が付いたら俺は泣いていた・・・

何故だか分からない・・・

でも、涙が溢れて止まらなかった。

最初に口を開いたのはバチカンだった。

バチ）久しぶり・・・だね・・・

アイル）・・・い・・・・・・た・・・

バチ）え？ 何て・・・

アイル）会いたかったよおおッ！！！！

俺はバチカンの腕の中で泣いた

ただただ泣いていた・・・

バチカンは・・・親友は・・・

そんな俺をずっと・・・ずっと抱き締めていてくれた

そんな俺達を周りの皆は不思議そうに眺めていたのだった・・・

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9116y/>

---

アイルランドの学ヘタ日記

2011年12月16日19時53分発行